

プログラム説明書

団体名	森の学校		
プログラム名	樹木医といっしょに 学校の木の図鑑をつくろう		
概要	校庭の樹木を知り、観察結果を冊子にまとめ、その学校オリジナルの「学校の木の図鑑」として記録します。		
ねらい	ただ身の回りにあるだけの存在だった木を、「生き物」として見るためのポイントを学び、各樹種にまつわる生物的、歴史的、文化的な話題に触れつつ、子供たちの自然への関心を伸ばすきっかけ作りを行います。		
対象者	幼稚園児・小学生・中学生	人数	100名程度まで
実施場所	学校敷地内	実施時間	2時間が望ましいが、1時間も可
学校の準備物	筆記用具(生徒児童園児各自)・クリップボード・可能ならルーペ	実施団体の準備物	記録用冊子 (「学校の木の図鑑」)
安全上の注意事項	屋外実施が原則のため、夏期の場合は熱中症対策の飲み物休憩、冬期の場合は体調を崩さないよう防寒対策などが必要と考えられます。		
雨天時の対応	小雨なら雨具を用いて実施も可能ですが、最悪の場合、枝葉サンプルを用いて室内講義・観察も可能です。日程の再調整が必要な場合、協議します。		
アピールポイント	<p>◎身近にあっても、普段は何気なく見過ごしていることの多い校庭樹木を題材として、自然環境に対する興味関心を高めるきっかけとなります。</p> <p>◎受講記録を学校オリジナルの「図鑑」として残すことで、受講時で途切れることのない、持続的な学習や各種の取り組みへと応用が可能です。</p>		
プログラムの進め方			
<p>【導入】</p> <p>◎木を好きになるために、様々な木を「知る」講座であることを確認、目的の共有を図ります。</p> <p>◎各樹種を見て回りながら、講義・観察を行なう進行方法、冊子への記入方法などを説明します。</p> <p>【展開】</p> <p>◎各樹種を見て回りながら、観察ポイントをチェックします。</p> <p>◎それぞれの木にまつわるクイズを交えながら講義を行ないます。講義の話題は、生物・歴史・民俗・文化など、多様な角度からのものとします。</p> <p>【まとめ】</p> <p>◎木の見方、観察ポイントをはじめ、木についてさまざまな知ったことを確認します。</p> <p>◎また、知ったことは図鑑にまとまっているため、「自分だけの図鑑」として大切に残しておくことを呼びかけます。</p> <p>◎何事も「好き」になるためには「知る」ことが前提です。この講座で「知った」ことをきっかけに「好き」になった木があれば、子供に発表させ、学んだことを「表現」に変えるのもよいことだと考えます。</p>			